

履修の流れ

日本語教育実践領域

※ 科目の開講学期は変更になる場合があります。

※ ()内の記号は必修または選択科目を、数字は単位数を示します。(例)3
単位相当の選択必修科目であれば「RE3」と記されています。

JLT000() []

R=必修科目
RE=選択必修科目
E=選択科目
リ=リカレント教育対象者の必修科目

[養成]=養成課程
[実践]=実践研修

3領域共通科目

6単位以上履修

- GCS600 (RE3) グローバル・コミュニケーション概論
- GCS601 (RE3) 言語、文化とアイデンティティ
- GCS602 (RE3) グローバル化と国際関係
- GCS607 (RE3) グローバル社会のためのアカデミック・イングリッシュ
- GCS608 (RE3) 日本学概論
(留学生のみ、日本語による開講)
- GCS609 (RE3) 異文化コミュニケーションのストラテジー
- GCS610 (RE3) 自省的職業経験考察(GAP YEAR参加者のみ適用)
- GCS611 (RE3) 通訳技法 I



日本語教育実践領域専門科目

必修科目10科目を含む30単位以上履修

1年目

秋学期

- JLT601 (R3) [養成]
日本語教育初級文法 I
- JLT606 (R3) [養成]
日本語音声と音声言語教育
- JLT615 (R3) [養成]
日本語教育のための第二言語習得論
- JLT616 (R3) [養成]
日本語教育学概論
- JLT620 (R3) [養成]
外国語としての日本語教育と教授法
- JLT660 (E1)
日本語自律研究 I

冬期プログラム

- JLT614 (E3)
日本語教育初級文法 II
- JLT661 (E1)
日本語自律研究 II

春学期

- JLT602 (E3)
日本語中・上級の教育
- JLT609 (R3) [養成]
日本語教育評価法
- JLT619 (E3)
多様化する社会における日本語教育
- JLT662 (E1)
日本語自律研究 III

課外(授業外)
日本語教育活動

学内の留学生を対象とした
日本語チューター

2年目

秋学期

- JLT604 (R)リ3 [養成]
日本語の教材・教具(教育実習)
- JLT650 (R3) [養成]
日本語教育実践計画(教育実習)
- JLT663 (E1)
日本語自律研究 IV
- JLT654 (リ3)
日本語教育実践研究(リカレント教育)

冬期プログラム

- JLT651 (R3) [実践]
日本語教育実践研究(秋田)(教育実習)
- JLT664 (E1)
日本語自律研究 V
- JLT653 (リ3)
日本語教育修了論文(リカレント教育)

春学期

- JLT652 (R3) [養成]
日本語教育実践研究(海外)と修了論文(教育実習)(※)
- JLT665 (E1)
日本語自律研究 VI

2年次教育実習の流れ

基礎的な教授能力の養成を目的とする
学部留学生対象の学内模擬授業実践



冬期プログラム

海外提携大学から留学生を招いて
冬期日本語・日本文化短期集中プログラムを実施



春学期

海外提携大学に向いての授業実践と
修了論文の執筆



学内の留学生を対象とした会話日本語パートナー

日本語会話テーブル

秋田市内の日本語教室で講師

他の2領域(ELT, GCP)から3科目9単位まで修了要件の単位数へ算入が可能

※実習にかかる実習費・旅費等は、学生本人の負担となります。

修了：計36単位以上修得

GPA修了要件：GPA 3.00以上を達成すること